

- 2/3 情勢・衆議院選挙結果
- 国内情勢と国際的取り組み
- 4/5 ミャンマー支援コンサート
- 東恩納名護市議インタビュー
- 6/7 交流広場
- コラム・今帰仁グスクの謎
- わんさか通信★ジュゴンのわ



11月7日に投開票された第49回衆議院議員選挙は、自民党が議席を大幅に減らしながらも過半数を維持した。しかし「市民と野党の共闘」により候補者の一本化を実現する中で、289選挙区のうち217選挙区で野党統一候補を擁立し、東京選挙区では候補者の一本化の結果として、選挙区勝利は4名から8名に倍増させた。神奈川13区での甘利自民党幹事長の落選や東京8区での石原伸晃元幹事長の落選がその象徴だ。

沖縄選挙区の選挙結果は「2勝2敗」の結果となったが、名護市を抱える3区でオール沖縄候補である現職の屋良朝博氏が敗れたことは大きな痛手となった。

11月6日松野官房長官が玉城沖縄県知事と会談した。岸田政権はあくまでも名護市辺野古への米軍普天間飛行場の移設を進めていく姿勢だ。

次の闘いが始まっている！

このような情勢の中で注目されているのが、沖縄防衛局の設計変更申請に対する玉城知事の「不承認」判断だ。大浦湾側の軟弱地盤の存在により工事完成のめどが立っていない。また沖縄戦の激戦地だった本島南部の遺骨が含まれている土砂を埋め立てに使用するという人道上の問題も浮上してきた。全国で玉城知事の「不承認」を支えるブルーアクションを具体化しよう！

衆院選の結果に一喜一憂しているときではない。既に次の闘いが始まっている！来年には名護市長選（１月）、参議院議員選挙（夏）、沖縄県知事選挙（秋）と重要な選挙が目白押しである。この闘いを勝ち抜くことで、辺野古への新基地建設を阻止し沖縄のジュゴン保護を目指そう。その実践例が、今回の衆議院選挙で実現した「市民と野党の共闘」だ。各地で政党や団体の枠組みにとらわれず、市民が前面に出た取り組みが変化を作っている。日常的な「市民と野党の共闘」の具体化で展望を切り開いていこう！（首都圏 三村昭彦）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



情 勢（事務局）

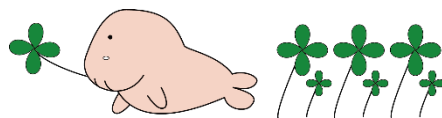
衆議院選挙～市民と野党共闘こそ重要

1. 市民と野党共闘

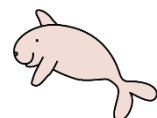
第49回衆議院選挙結果は自民 261（前回－15）、公明 32（＋3）、立憲民主 96（－13）、共産 10（－2）、れいわ 3（＋2）、社民 1（0）、国民 11（＋3）、維新 41（＋30）で、マスコミは「自民敗北、立憲惨敗、維新躍進」と評価しています。立憲民主の枝野代表は責任取って辞任しました。しかし、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（略称・市民連合）が 289 選挙区のうち 217 で野党統一候補を擁立し、甘利自民党幹事長や石原派代表（東京 8 区）を落選させるなど選挙区で前回＋9 になりました。地域で学習会を積み上げ候補者を決定した東京 8 区の活動が注目されます。惜敗率 9 割以上の統一候補は 33 人でした。自公統一候補に勝つためには野党統一候補は必要です。また、「野党共闘 無党派の受け皿に 一本化の 217 選挙区立憲に 41%」（朝日新聞出口調査 11/1）と、立憲民主に前回の 3 倍の無党派層が投票しています。自民には 32%の横ばいでした。投票率は前回より 2.25%増え、有権者の関心も高めています。課題は、市民連合と立憲民主、共産、れいわ、社民の 4 党が政策「命を守るために政治の転換を（20 項目）」を 9 月 8 日にやっと合意したことです。日常的な「市民と野党共闘」が重要です。

2. オール沖縄で名護市長選挙勝利を

すでに沖縄では「市民と野党共闘」のオール沖縄があります。今回の選挙では 1 区（共産）、2 区（社民）で勝利しましたが、3 区、4 区では惜敗。得票率ではオール沖縄 45.73%、自公 46.64%と逆転されました。自公政権がコロナ禍による市民の生活苦や企業経営の困難さに付け込み景気政策で誘導する一方、候補者のデマを流したことが要因にあります。辺野古を抱えた 3 区の屋良候補は敗北しましたが、県民の意思は基地建設反対 54%、賛成 21%（沖縄テレビ出口調査）と変わっていません。防衛省は埋め立て工事を進めるために美謝川の水路切り替えやサンゴ移植を一方向的に進めています。基地建設を容認する渡具知名護市長は、市条例の解釈を変更して「協議を不要」と防衛省の後押しをしています。来年 1 月 23 日には名護市長選挙があります。厳しい状況ですが、岸本洋平予定候補を先頭に「生物多様性豊かな辺野古大浦湾を守り、誇りある豊かな名護市」を実現するために頑張りましょう。夏の参議院選挙、秋の沖縄県知事選挙を地域からの「市民と野党共闘」で勝利しましょう。



命と暮らしを破壊する在日米軍基地



在日米軍基地は市民の命と暮らしを破壊していますが、日本政府は米軍を擁護することに終始しています。8 月 26 日、米海兵隊が普天間基地で発がん性物質の泡消火剤（有機フッ素化合物ピーファス：PFAS）を薄めて公共水道にドラム缶 320 本分を放出したことを明らかにしました。台風の影響で格納庫の地下水槽に雨水が入り、溢れたことを理由にしています。しかし、薄めて流した濃度は国基準の 13.4 倍。水不足の沖縄県民にとって大事な浄水場が汚染されることは死活問題です。9 月 17 日、日本政府は地下貯水槽に残る未処理の汚染水を全て引き取り焼却処分することで費用 9200 万円の負担と、貯水槽の補修を肩代わりすることを発表しました。「いつまで米国の尻ぬぐいをするのか。半植民地だ」（沖縄県幹部 10/18 琉球新報）と、沖縄県・国・米軍の合同調査を求めています。昨年 6

の火災翌日にも国基準の 17.7 倍の PFAS が北谷町で確認されていたことが今年 10 月に明らかになりました。沖縄のみならず青森県三沢基地、東京都横田基地などでも PFAS 汚染は問題になっていますが、国は米国に使用禁止を求めています。米国内でも米軍基地周辺に広がる PFAS 汚染について米連邦議会で追及が始まり、国防総省の浄化責任を問う法案（国外基地は除外）の提出が相次いでいます。PFAS の製造・販売・使用禁止を求める海を越えた連帯が必要です。

（事務局 蛭川義章）

（注）PFAS は国際的に製造・販売・使用が禁止されています。



辺野古・大浦湾とやんばるの森を守るために

国内情勢と国際的取り組み

沖縄の辺野古・大浦湾とやんばるの森は、海と山がつながる島嶼環境の生物多様性の豊さを代表する場所だ。しかし、辺野古・大浦湾では新基地建設が強行され、やんばるの森には米軍北部訓練場があり、その豊かな環境は危機に晒され続けている。以下、喫緊の情勢を踏まえた両地域を守る国際的視点からの取り組みを紹介する。

辺野古・大浦湾

辺野古・大浦湾を守るには新基地建設を止めることが必要だ。その最大の鍵は、軟弱地盤改良のための沖縄防衛局の設計変更の申請を玉城デニー沖縄県知事が不承認にすることである。しかし不承認に向けた県の動きは、国との裁判闘争を見据えた慎重さもあり、非常に掴み難いのが現状だ。この状況は県政への不信感や運動の手詰まり感にもつながっている。

この状況を打開するため SDCC をはじめとする市民団体は、米国の環境団体の協力のもと米国の情報公開法を使い、新基地建設に関わる国防総省が持つ情報の開示要求に取り組み始めている。

開示対象の一つは、2020 年度国防権限法 1260K 項に基づく「インド・太平洋地域における米国海兵隊の分散配置に関する報告書」である。国防総省は「分散配置」の進捗状況と政治や環境面での課題を示すことが求められている。しかし 2020 年 6 月が提出期限を過ぎても提出の確認ができていない。同報告書では、軟弱地盤の情報とそれに対する国防総省の認識の記載が予想され、建設中止を求める米国でのロビーイング等に重要な役割を持つといえる。

また、沖縄の米軍基地や訓練場に関わる「自。同報告書は 5 年ごとに作成されることになっているが、現在 2014 年版までしか公開されていない。これまでも、ジュゴンを含む貴重種や天然記念物についての在沖米軍の認識や対応が記載されており、米軍を含む米政府への今後の働きかけの重要な資料となりえる。

今後、この情報開示の取り組みを広く市民に知らせ、県知事の不承認の後押しにつなげることが必要だ。

やんばるの森と北部訓練場

2021 年 7 月、やんばるの森（沖縄島北部）が、奄美大島、徳之島、西表島と共にユネスコ世界自然遺産に登録された。しかし隣接する米軍北部訓練場とそこで繰り返される軍事訓練、「返還地」に残る米軍廃棄物、その問題を訴えた宮城秋乃さんへの沖縄県警による家宅捜査など問題は山積みだ。

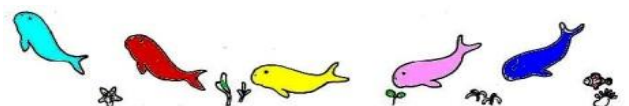
しかし登録によりやんばるの森と北部訓練場がより厳しい国際的監視下に置かれたことも確かである。現在、世界遺産という国際的枠組みを使い、やんばるの森を米軍基地のない「真の世界遺産」にするための SDCC を含む市民団体の取り組みが始まっている。

市民団体は、ユネスコ世界遺産委員会が日本政府に対して、来年 12 月までに「世界遺産地の保護と管理のための早急な措置」の報告書の提出を求めていることに注目（報告書は IUCN により検証されることになっている）。この政府の報告書提出にあわせて、市民団体独自のカウンターレポートの提出を計画している。

カウンターレポートでは、1) 市民が望む「真の世界遺産」のビジョンを示し、2) 米軍の訓練による環境への影響、また米軍廃棄物についてデータを収集し報告、3) 問題解決の提案を提示していく予定だ。また日米政府、米軍、沖縄県に質問や提案を行い、その回答や交渉の内容もカウンターレポートに含めていく。すでに市民団体は、環境省、防衛省、沖縄県との意見交換を行なっている。意見交換を通して、防衛省も環境省も米軍機訓練による騒音を世界遺産地内でモニタリングが行われていないなども問題が明らかになっている。

今後、カウンターレポートの作成に地域住民や市民を広く参加させ、ユネスコ、IUCN、そして日米両政府が北部訓練場の問題に対応しなければならない状況を作っていくことが必要である。

(国際担当 吉川秀樹)



沖縄

ミャンマー民主化支援のコンサート

10月23日は、ミャンマーの軍事政権に抗議し、民主化を支援する「サンセットライブ」コンサートの日でした。秋の夕方～夜、名護市の「21世紀の森野外ステージ」には130人以上の観衆が集まりました。平和、環境の市民運動に関わる馴染みの顔も多かったのですが、名護市にある名桜大学の学生の姿もあり次の世代へのつながりを感じる事ができました。

コロナ禍により一度延期になったコンサート。しかし「第二次世界大戦で甚大な被害を受け、その後も軍事基地の集中に苦しむ沖縄だからこそ、また辺野古基地建設に翻弄される名護だからこそ、武力による支配にNOを突きつけないといけない、民主化支援を示さないといけない」という支援実行委員会の強い思いがコンサートを実現させました。

SDCC 共同代表の海勢頭豊さんをはじめとする平和のアーティスト5人が出演。久しぶりに聴く生の歌や演奏に合わせて体を動かし笑顔を見ている観衆の姿をみると、音楽の力を改めて感じました。



また武力弾圧に怯えるミャンマーの家族や友人への危機、その状況の中で自分が日本で学ぶことの葛藤、そして日本で学んだことをミャンマー民主化につなげたいという強い決意が語られました。彼らの言葉に観衆や私たち実行委員会も勇気をもらいました。

民主化支援のカンパも沢山集まり、ミャンマーの学生に託すことができました。また日本政府に対して軍事政権との関係を断ち切ること求めた要請文にも多くの賛同署名が集まりました。「平和、民主主義の社会を平和的手段で、そして市民のできる形で目指す」という理念と信念が冴え上がったコンサートだったと思います。（沖縄 吉川秀樹）



海勢頭豊さん (G.Vo) 海勢頭愛さん (Vn) 島田裕沙さん (Vo)

首都圏



辺野古「ブルーアクション」に呼応し 首都圏でも「不承認」支持の声をあげましょう！



オール沖縄会議は、コロナ禍でままならなかった抗議活動の再開を決定し、10月から毎月第一土曜日を新たな抗議行動「ブルーアクション」として県民大行動を開催しています。首都圏でもこの取組みに呼応し、沖縄県の「不承認」を支持するスタンディングが11月6日に新宿駅南口にて行われました。

快晴の空の下で、各自青い物を身に付け持参したバナーやプラカードを掲げて、「辺野古新基地NO!」「海を壊すな!」と市民にアピールをしました。同時刻開催の辺野古デント前集会から、糸数オール沖縄共同代表や玉城知事、国会議員の発言が流され、現地集会の熱気が伝わって一体感が深まりました。

終盤には、島唄やカチャーシーで賑やかに盛り上がり、通行する市民の注目を集めていました。参加者は100人に上りました。防衛省はコロナ禍にあっても決して埋立工事を中断しません。軟弱地盤があっても、ジュゴンなど希少生物への影響が危惧されても全く意に介さず、戦没者の遺骨の入った土砂の使用も厭いません。国の杜撰な「工事設計変更申請」絶対に認められません。

次のスタンディングは、12月4日の予定です。（知事が不承認を発表した場合は変更あり）

辺野古新基地建設は民主主義と人権の問題であり、全国民の問題です。ブルーアクションに参加して全国に「辺野古埋立NO!」の声を広げていきましょう！（首都圏 蟹江由美子）



東恩納琢磨名護市議にインタビュー（聞き手 事務局）

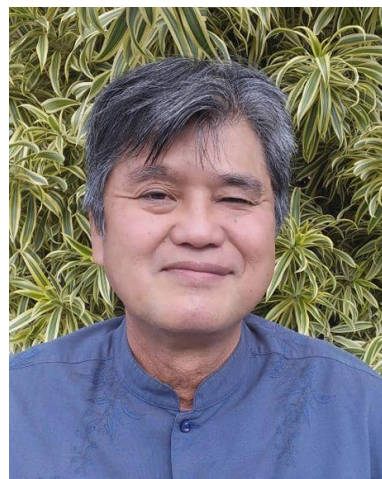
11月10日、東恩納琢磨名護市議に衆議院選挙（沖縄3区）の結果と、来年1月23日投開票の名護市長選挙状況を聞きました（事務局責任で要約）。

衆議院選挙でオール沖縄の屋良朝博候補は辺野古新基地建設反対の民意を聞かない自民党政権の交代を主張しました。しかし、島尻愛子（あい子）候補は新聞紙上のクロス討論でもそれに一切答えず、秘書のハラスメントなど誹謗と中傷に終始。沖縄振興の法律を作るためにも政権と直結する必要があると主張。菅元首相も応援に入っていました。島尻候補を支援する公明党は「女性候補をよろしく」と戸別訪問を徹底、道歩く子どもですら「あい子」の名前を覚えるほど浸透していました。埋め立てが進み、基地建設は止まらないとのあきらめ感が名護市民に入ったと思います。残念ながら1500票差でした。デニー県知事が「設計変更不承認」を出していれば、辺野古基地問題を焦点にできたのにとの思いが強いです。

来年1月市長選挙に向けて岸本洋平市長予定候補の後援会（会長・稲嶺進元市長）は「基地のない、誇りある豊かな未来を」「地元若者の仕事を」と訴えて戸別訪問に力を入れています。公明党、創価学会婦人部は辺野古基地建設については中立の立場をとってきましたから、早くデニー知事が「設計変更不承認」を出して、市民のあきらめ感を払拭してほしいと思っています。



コロナの緊急事態宣言も解除され、辺野古ゲート前の活動も再開しましたが、ヘリ基地反対協の財政難でテント村の専従体制が取れていません。お手伝いができるボランティアを募集しています。一昨年に大浦湾辺野古の海が生物多様性豊かな海「ホープスポット」であると世界から認められたことを記念して、11月3日に大浦川河口でハーリー船「希望の海」の進水式をしました。来年の市長選挙でも不正投票監視団活動で企業ぐるみ投票の防止とともに頑張りましょう。



東恩納琢磨 名護市議会議員

11月26日提出！

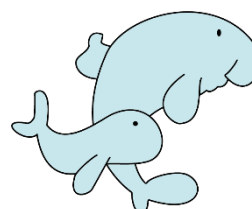
ジュゴンを守る第2次キャンペーンが進んでいます

ネット署名キャンペーン「Save the Okinawa Dugong! 辺野古大浦湾の埋め立て工事を中止し、沖縄ジュゴンの調査を求めます」が11月15日段階で、31025筆に到達しました。第1次キャンペーンは5月28日に防衛省に提出。紙版と合わせ32440筆でした。第2次は紙版と合わせれば、前回は上回る勢いです。今回は「沖縄ジュゴンは2019年に絶滅した」との論文を専門誌に投稿した環境監視等委員会の3名の委員の解任を要求しました。環境省が古宇利島付近で新たなほみ跡を発見していることを知りながら、「絶滅」を主張。「絶滅したから保全は必要ない」という結論に世論を誘導する悪質なものです。



第2次署名にはフィリピンの音楽家で児童福祉施設を運営するポールガランさんも私たちの署名に賛同していただき、海外からの署名も増えています。提出は11月26日。伊波洋一参議院議員の仲介で、参議院議員会館に防衛省担当者呼び、あわせて交渉を行います。環境省との交渉も行います。

残りわずかの期間ですが一筆でも多くの署名をお願いします。（関西 松島洋介）



交流広場

本村綾さんは、『みんなで決めよう「原発」国民投票』の運営委員で、外国籍住民も住民投票できるよう求める請願活動『みんなで住民投票！（みんじゅう）』でも活躍中。『『マイノリティの抱える課題は、マジョリティが課題解決の当事者である』と学んだみんじゅうの経験が、今回の沖縄の陳情提出に繋がっています』。ギターデュオ「スカピン」ヴォーカル担当。

沖縄南部土砂の埋め立て使用中止を求める陳情：大阪に住む私ができること

沖縄本島南部土砂の埋め立て使用計画について、私は2021年3月に沖縄県庁前で遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」の具志堅隆松さんがハンガーストライキを行うというニュースで知った。このとき、まるでお墓を掘り返したり、生き埋めの人がいる場所の土を遺体ごと持っていったりするあり得ない計画で、自分自身がこれを許す人間でいたくないと思った。

そもそも沖縄で起きている基地問題は沖縄以外の日本「本土」にすむマジョリティである私自身にも責任があるのに、また沖縄の具志堅さんに体を張って抗議させてしまう。今なにもしないのは見捨てているということではと自問し、自分

ができる大阪市会への陳情提出を決めた。3月議会の提出締め切り日に急ぎ陳情を提出。議員面談の時間は取れず委員会審議では全会派「継続審議」となった。

6月議会で徐々に他自治体議会での意見書可決が報じられ、大阪市会へも9月議会で再度陳情提出をすることとした。2回目の陳情では他議会の可決実績を参考に文中の「辺野古」「基地」の文言を削除して賛同を得やすくし、8月中旬より議員面談を進め、全会派議員に直接会って説明した。各会派の基地建設に対する態度は違うが、遺骨を含む土砂の使用は「人道的観点から間違っている」という点で理解して頂けた。

大阪市会では政令指定市議会で初めての意見書可決となり、全会派一致。議会の判断はもちろん注目されるべきことだが、現在全国130を超える地方議会で同様の意見書が可決されている背景には、市民の小さな行動がある。諦めずに種をまき続けていきたいと思う。（大阪市 本村綾）



本村さん。大阪市役所前にて。



誰でも、ひとりでも、陳情はできるんですね。全国の地方議会で、どんどん意見書が可決されますように！

① わんさか通信 ★ ジュゴンの①



まさかの軽石漂着

10月中旬本島北部に軽石が漂着しているとニュースで知り、海底火山の噴火？8月の小笠原？そんな事があったっけ？と思い出せない出来事だったのに、今や思いもよらぬ大きな災害になっている。

朝にないと確認しても風や満潮の加減で2時間後には港一面を覆う軽石が漂っていたりするそう。

11月初め会社の電話に出ると「教えてもらえますか？」と、何か聞くと「奥武島に軽石がきている話を聞きましたか？」と。私の職場は南部の海が見える場所にあるのです。

北部の話だと思っていたので「え？」と思いつつも地元の職員に聞いてみると「少し来てるよ、港には入ってないけど」と。「そうなの?!」私が驚いてしまった。

電話の男性は冷静で「回収しないと、ありがとう」と電話は切れた。あなたは誰？と思いつつ、改めて海は繋がっているんだなぁと当たり前なだけれと思知らされました。

翌日海岸に行ってみると本当に沢山の軽石が打ちあがっていた。辺野古新基地建設工事は中止して軽石撤去作業に取りかかってほしいものだ。（沖縄 小平裕美）



海岸に打ち上げられた軽石。

な き じ ん 今帰仁グスクの謎 - ~こらむ・コラム~

選挙疲れの11月6日。沖縄タイムスの論壇に、吉川秀樹さんの父・吉川安一先生が大変興味深い投稿をされた。重要なので紹介しておきたい。

タイトルが「今帰仁グスク誰が築城〜三つの諸説どれも納得」。名桜大学名誉教授の先生のもとに「今帰仁グスクを学ぶ会会誌・世界文化遺産登録20周年記念・今帰仁グスク」が送られてきた。会誌から今帰仁グスク築城に関する三つの諸説が読み取れたという。1説が《伯尼芝=はにし・珉=びん・攀安知=はんあんち説》。2説が《遊牧モンゴル騎馬民族による説》。3説には《南走平家による説》だが、先生はどの説にも納得してしまうという。

3説の《南走平家説》は、1184年、一の谷で源氏との戦いで敗れた平家の頭領・平維盛の一族が源氏の追っ手から難を逃れる為に、30隻の船団を率いて南海を目指した。その高度な能力技術者集団だった平家が、今帰仁グスクを築城したという説。2説の《モンゴル騎馬民族説》は、北方ユーラシア発祥の卍の意匠をはじめ、粉食携行用左回転式石臼、シンメトリー十字紋意匠四つ葉のクローバをモチーフにした青花皿、天馬の図柄馬意

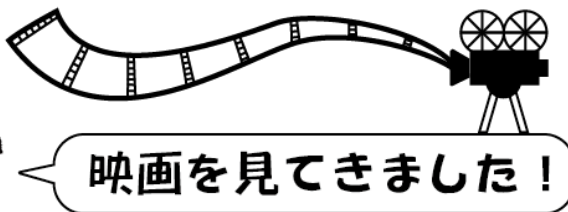
匠、騎兵装備の騎兵武者像の青花碗、中世モンゴル騎兵装備の騎兵武者像青花碗、秀逸な四面立体骨製ヤジリ、鉄製の札、中世モンゴル騎兵装備携行用石製ヤスリ、常用小刀、小型の青銅製釣鐘、躍動する鹿の容姿を染め付けた青花碗などから、今帰仁城は遊牧モンゴル騎馬民族が築城したのではないかという説。1説目は、今帰仁城を北山城ともいう。北山王統は攀安知である。今帰仁城は同王統によって築城され、同王統の系図の存在や今帰仁村と沖永良部島との王統の親子関係が結ばれているとの説。吉川先生は資料を基に今帰仁城跡について知り得たことを挙げたが、今後、研究者の成果を期待したいという。

読み終えふと頭に浮かんだのがモンゴル帝国の第五代皇帝で、中国の元朝初代皇帝のフビライ・ハンであった。琉球の歴史には1291年と1296年の2度にわたる元国琉球侵攻失敗の歴史があるが、もしかしたら中国に帰らず今帰仁に住み着いた人達がいって、彼らの子孫がハンを名乗り、ハン按司と呼ばれたのかもしれない。面白くて疲れが吹っ飛んだ。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

グレタ

ムトリぼっちの挑戦



グレタとは国連で大人たちを前に歯に衣着せぬ物言いで世間を圧倒した環境活動家のグレタ・トゥーンベリ（スウェーデン）さんのことでそのドキュメンタリー映画です。

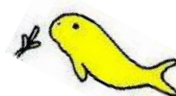
グレタのような子供が環境に興味を持つということは、さぞや親が環境問題に熱心なのかと思っていましたが、そうではなくて学校で見た映画をきっかけに環境問題を考えてようになったとはビックリです。彼女はアスペルガー症候群を持っている子です。コミュニケーションがうまくとれず、環境に馴染みにくいというのが一般に知られたことですが、これぞというものには執着するという側面ももっているのが特徴です。

なるほど、と思いましたがグレタは環境のことを考え、3年もひきこもりとなり親以外とはしゃべることでもできなかったとは。なのにあの国連での演説を聞いていると信じられない行動です。恐怖と感じているのにこんな行動ができるのはすごい！それに比例して各国で演説するグレタを

支えるために長い距離を一緒に移動している父親もすごい！

映画の中で今でも毎週金曜日は、プラカードを持って立っているとありました。東京で辺野古のことを思い毎週土曜日の夜に官邸前で訴えている人たちや辺野古で毎日頑張ってくれている人たちのことを思い浮かべてしまいました。訴えること、それを継続することは中々出来ることではないですが、また奮起しなくちゃと思える映画でした。このニュースが出る頃にはもうやっていないかもしれませんがDVDなど触れる機会があれば是非みてください。

（関西 上田千鶴）



<首都圏・全国>

- ・防衛省、環境省交渉 署名提出行動
11月26日(金) 12:00 参議院議員会館
- ・辺野古ブルーアクション(辺野古実行委員会よびかけ)
「不承認」発表後から1週間程度(全国連帯アクション期間)
他、辺野古実行委員会、国会包囲実行委員会の行動参加
- ・ZENKO スピーキングツアー 11/28 講師 上間芳子さん
シアター1010(千住) 14:00～

《 今後のスケジュール 》

<関西>

- ・じゅごん茶話会 11月25日(木) 14時～ SDCC 関西事務所
- ・ZENKO スピーキングツアー
12/2 兵庫 講師 奥間正則さん 18:30～ 西宮勤労会館
12/5 大阪 講師 嶺井善(まさる)さん
13:00～ エル大阪南館
- ・Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクション集会
1月23日(日) 13:30～ 講師 山城博治さん



東京、大阪で団結まつり 具志堅隆松さんを囲んで



10月24日(東京)、10月31日(大阪)で団結まつりが開催されました。大阪の会場は扇町公園。今年は沖縄戦遺骨収集ボランティア団体「ガマフヤー」の代表、具志堅隆松さんが参加されました。(東京でも具志堅さんがオンラインで参加されました)具志堅さんのお話は、自ら遺骨に触れ、戦争で死ぬことの意味を体感してきた方でしか話せない具体的なものでした。そしてボランティアに参加した子供たちには「殺してはいけない」「殺されてもいいけない」と命の尊厳をお話されているそうです。

SDCCは恒例のおでんとジュゴングッズを販売。おでんは「ダシがええで」という方も多く完売。グッズも人気でした。前夜、少し雨が降りテントに水が溜まっていたましたが、当日は秋晴れ。よい一日でした。(関西 松島洋介)



具志堅隆松さん(大阪会場)



オンラインで参加(東京会場)



Editor's Note

衆議院選挙直前になっても、ニュース番組のトップは「真子の結婚」だった。二人のためにもほっておけばよいものを、真子は「結婚は両性の合意によってのみ成立する」という憲法の埒外にある「支配のための装置」の役割を最後まで演じさせられた。

選挙の結果成立した、岸田政権がまずやったのは、沖縄に松野官房長官を派遣し、玉城デニー知事に「辺野古が唯一」と言い渡すことだった。

非人間的で虚妄に満ちた天皇制と沖縄支配を一刻も早くやめさせたい。

(M)



ジュゴングッズも好評(大阪会場)



ブースで署名活動(東京会場)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.119 2021年11月22日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号京橋ベース
(旧野口ビル) 302 TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084



SDCCのwebsite
<http://www.sdcc.jp/>
には、左記QRコードより
アクセスできます

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!